

2. 地区別景観形成方針

我孫子市全体を対象とした景観形成基本方針に基づき、地区ごとの景観形成を具体的に推進するために、地域的広がりや地域社会のまとまりに対応した地区別景観形成方針を策定します。

1 地区別景観形成方針の考え方

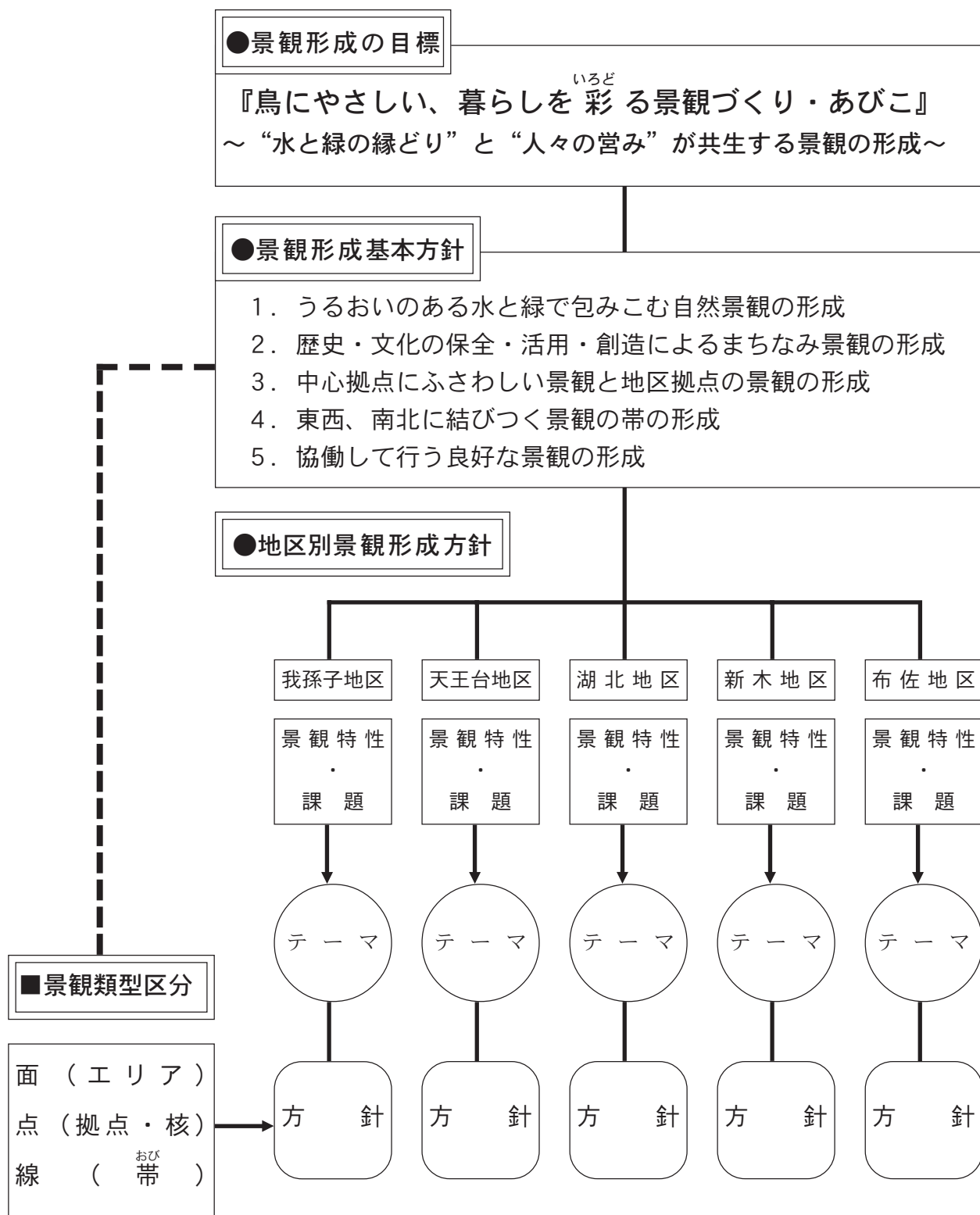
地区の区分としては「第一次基本計画（平成14年3月）」における将来都市像の諸計画や日常生活空間の地域的まとまりに基づき、我孫子、天王台、湖北、新木、布佐の駅を中心とした5地区に区分します。ここでは、各地区の景観特性と課題を整理したうえで、景観形成のテーマと方針を設定します。

さらに、市全域の景観形成基本方針もふまえ、景観の類型に応じて面（エリア）と点（拠点・核）と線（^{おび}帯）に区分し、地区別景観形成の具体的な方針として設定します。

●地区区分図



地区別景観形成方針の組み立て



2 目標

あびこの景観については、自然景観、歴史・文化的景観、まちなみ景観の要素で分類しました。ここでは、地区別景観形成方針をより具体化することを目的として、景観の類型に応じた区分を行い、それぞれ面（エリア）、点（拠点・核）、線（^{あび}帯）として設定し、整理することとします。

- 面（エリア）的景観 土地利用や環境において同質な景観特性をもち、一定の広がりのあるまとまりとしてとらえる景観
- 点（拠点・核）的景観 地区の主要な施設、オープンスペース、あるいは史跡などの景観形成上価値のある拠点・核的要素の景観
- 線（^{あび}帯）的景観 道路など都市の骨格となる連続性のある景観

【面（エリア）的景観】

- 水辺景観形成エリア 手賀沼や利根川、古利根沼の水辺空間の保全、活用による景観の形成
- 緑の景観形成エリア まちを縁どる田園と斜面緑地の保全、育成及び生物が生息できるような多様性に富んだ緑の環境の形成
- 農村集落地景観形成エリア 農地などの身近な緑と調和した集落地景観の形成
- 市街地景観形成エリア ままとまりと個性のあるまちなみ景観の形成
地区計画、景観協定、建築協定、緑地協定の推進
- 集落地景観を生かした市街地景観形成エリア 伝統的な緑やたたずまいを活かしたまちなみ景観の形成
地区計画、景観協定、建築協定、緑地協定の推進
- 歴史・文化的景観形成エリア 旧街道のまちなみや歴史的・文化的遺産の保存、活用
地区計画、景観協定、建築協定、緑地協定の推進

【点（拠点・核）的景観】

- | | |
|------------------------------|---|
| ○みどりの核 | 公園・緑地などのオープンスペースで都市空間をやわらげるとともに、生き物の生息環境となる緑の形成 |
| ○中心拠点
（我孫子駅周辺から
手賀沼まで） | 我孫子市の顔にふさわしいにぎわいのある景観の形成 |
| ○地区拠点
（我孫子駅以外の
主な駅周辺） | 各地区の顔となる個性のある景観の形成 |
| ○シンボル景観拠点
地域のシンボル | 地域のシンボルとなる先導的な景観の形成 |

【線（^{おび}帯）的景観】

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| ○ ^{おび} 広域帯 | 国道6号と県道我孫子利根線を広域的な役割を担う景観の帯として形成 |
| ○ ^{おび} 営み帯（東西の帯） | 市街地を結びつける国道356号と手賀沼ふれあいラインを景観の帯として形成 |
| ○ ^{おび} 架け橋帯（南北の帯） | 市街地と周囲の自然環境を結びつける架け橋となる景観の帯として形成 |
| ○歩行者の ^{おび} 回遊帯 | 水と緑と歴史と文化が楽しめる歩行者系の回遊ルートの形成 |

3 地区別景観形成方針

(1) 我孫子地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・つくし野5丁目と6丁目(いずれも一部を除く)では地区計画により生垣などの緑化が進められ、良好な低層住宅地の景観が形成されています。
- ・駅の南側は、多くの歴史的・文化的遺産が点在しており、起伏に富んだ地形、手賀沼の眺望などとともに趣のある住宅地が形成されています。
- ・駅周辺では中高層のマンションが多く見られます。
- ・根戸船戸緑地は、都市の貴重な緑として保全活用されています。
- ・布施、久寺家、根戸新田では、農地や屋敷林、農家住宅が農村の落ち着いた風景を醸し出しています。
- ・ミニ開発による斜面林の喪失が危惧されます。

ii 商業系土地利用

- ・駅を中心に商店街が広がり、大規模店舗も見られます。全市的に最も集積力は大きく、中心商業地としてのまちなみの魅力が生まれつつあります。
- ・国道6号は、我孫子市の大動脈として重要な道路ですが、景観的に分断しがちです。

iii 駅前の土地利用

- ・我孫子駅は、駅前広場を含めデザインの的にも整えられています。
- ・にぎわい景観に配慮したけやきプラザが立地しています。

iv その他

- ・我孫子駅の南北における土地区画整理事業が進行中です。
- ・中央学院大学、電力中央研究所などが敷地の緑化や配棟の工夫などにより良好な景観を形成しています。
- ・水辺の景観に配慮した生涯学習センター(アビスタ)が立地しています。
- ・公園坂通りは、我孫子駅南口と手賀沼公園を結ぶ重要な道路であり、中心拠点としてのにぎわいと交流を演出するため、水辺景観と歴史・文化的景観を活用したモデルとして整備する必要があります。
- ・本市を象徴する手賀沼は市民の心のよりどころとなっており、より身近に親しみを感じられることが望まれます。

●我孫子地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■我孫子地区景観形成のテーマ

新しい都市の魅力とシンボルとしての手賀沼を感じさせるまち

■我孫子地区景観形成の方針

- i 我孫子のシンボルである手賀沼を保全、活用した景観づくり
- ii 市街地を取り囲む連続した緑の景観づくり
- iii 新しい都市空間と魅力ある緑を創出する景観づくり
- iv 手賀沼と歴史・文化が感じられる景観づくり
- v 中心拠点にふさわしいにぎわいのある景観づくり

i 我孫子のシンボルである手賀沼を保全、活用した景観づくり

○水辺景観形成エリア
(手賀沼周辺)

・自然環境の保全を基本としたうるおいのある水辺景観の形成を図ります。また、歩行者の回遊する帯の形成を進めます。
→景観ポイント整備事業

○営み帯^{おび}
(手賀沼ふれあいライン)

・手賀沼への眺めに配慮し、自然と調和した沿道景観の形成を図ります。

ii 市街地を取り囲む連続した緑の景観づくり

○緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)

・市街地を縁どる斜面林と田園景観が一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。

○農村集落地景観形成
エリア
(布施、久寺家)

・地域の特色をつくり出している農地や屋敷林、農家住宅などを保全、活用し、農村集落地景観の形成を図ります。

○農村集落地景観形成
エリア
(根戸新田)

・手賀沼農舞台計画に基づくあびこ型都市農業拠点施設の設置など、農村集落地としての景観の形成を図るとともに、他の景観資源とのネットワーク化を進めます。

→景観ポイント整備事業、文化的景観の保存

→手賀沼農舞台計画

○みどりの核
(根戸船戸緑地周辺)

・生き物の生息できる自然環境の保全、育成を基本とし、人々が自然と身近にふれあえる空間として活用します。また、他の景観資源とのネットワーク化を進めます。

→景観ポイント整備事業

iii 新しい都市空間と魅力ある緑を創出する景観づくり

○市街地景観形成エリア
(住居系用途地域)

- ・緑化の推進、オープンスペースの創出などにより、うるおいとゆとりのあるまちなみ景観の形成を図ります。
- ・住宅地に混在する工場などについては、緑化や建築物などの景観誘導により、周囲の景観との調和を図ります。
- ・特に手賀沼周辺の地区では、手賀沼の水辺景観及び対岸からの眺めに配慮し、緑豊かな住宅地景観の形成を図ります。

→特定地区における景観の誘導

○営み^{おび}帯
(手賀沼ふれあいライン)

- ・市街化区域においては手賀沼と斜面緑地を意識した景観形成、市街化調整区域においては農村集落地としての景観形成を進めます。

○営み^{おび}帯
(国道 356 号)

- ・沿道の歴史的資源を保存し、これを活かしたまとまりある沿道景観の形成を図ります。

○広域^{おび}帯
(国道 6 号)

- ・沿道の建物と一体となって、秩序ある沿道景観の形成を図ります。

○シンボル景観拠点
(公共施設、文化施設など)

- ・公共施設などを主体に、地域の先導的な景観形成を図り、アピール性の高い文化の拠点づくりを行います。
- ・人々に開かれた開放的な空間づくりを行います。

○シンボル景観拠点
(電力中央研究所、
中央学院大学)

- ・周辺からの眺めに配慮し、敷地内のオープンスペースの緑化や建築物などの適切な景観誘導を行い、研究教育活動の中心的な拠点として、自然景観と調和した良好な景観形成を図ります。

iv 手賀沼と歴史・文化が感じられる景観づくり

○歴史・文化的景観形成
エリア

- ・歴史・文化的景観資源を保存し、緑と一体となってこれらを活かした計画的な景観形成を図ります。
- ・歴史・文化的景観資源を結ぶネットワークの形成を図ります。公共サインの設置をはじめ、歴史・文化のみちにふさわしいハケの道などの整備を進めます。
- ・手賀沼と斜面緑地の相互景観に配慮し、特徴ある地形を活かした景観形成を進めます。

→景観ポイント整備事業

○シンボル景観拠点
(嘉納治五郎別荘跡、旧村川別荘、旧杉村楚人冠邸など)

- ・手賀沼沿いの歴史ある場所という特性を生かし、歴史と文化と連携のシンボル拠点として景観の形成を図ります。

→景観ポイント整備事業

○みどりの核
(根戸城跡・金塚古墳)

- ・歴史・文化的景観資源であるとともに緑の景観要素として、人々が歴史と自然にふれあう核として活用します。また、他の景観資源とのネットワーク化を進めます。

→景観ポイント整備事業

○架け橋^{おび}帯
(公園坂通り)
→公園坂通り整備事業

- ・手賀沼へ歩行者を導く景観の帯として整備を進めます。
- ・無電柱化や歩道などに設置されるベンチ、案内板、街路灯などの都市空間を演出するための設備や舗装、緑化などを整備し、歩いて楽しい歩行者空間の整備に努めます。
- ・手賀沼を意識した沿道の建築物の誘導を進めます。

→公園坂通り整備事業

○架け橋^{おび}帯
(手賀沼公園・久寺家線)

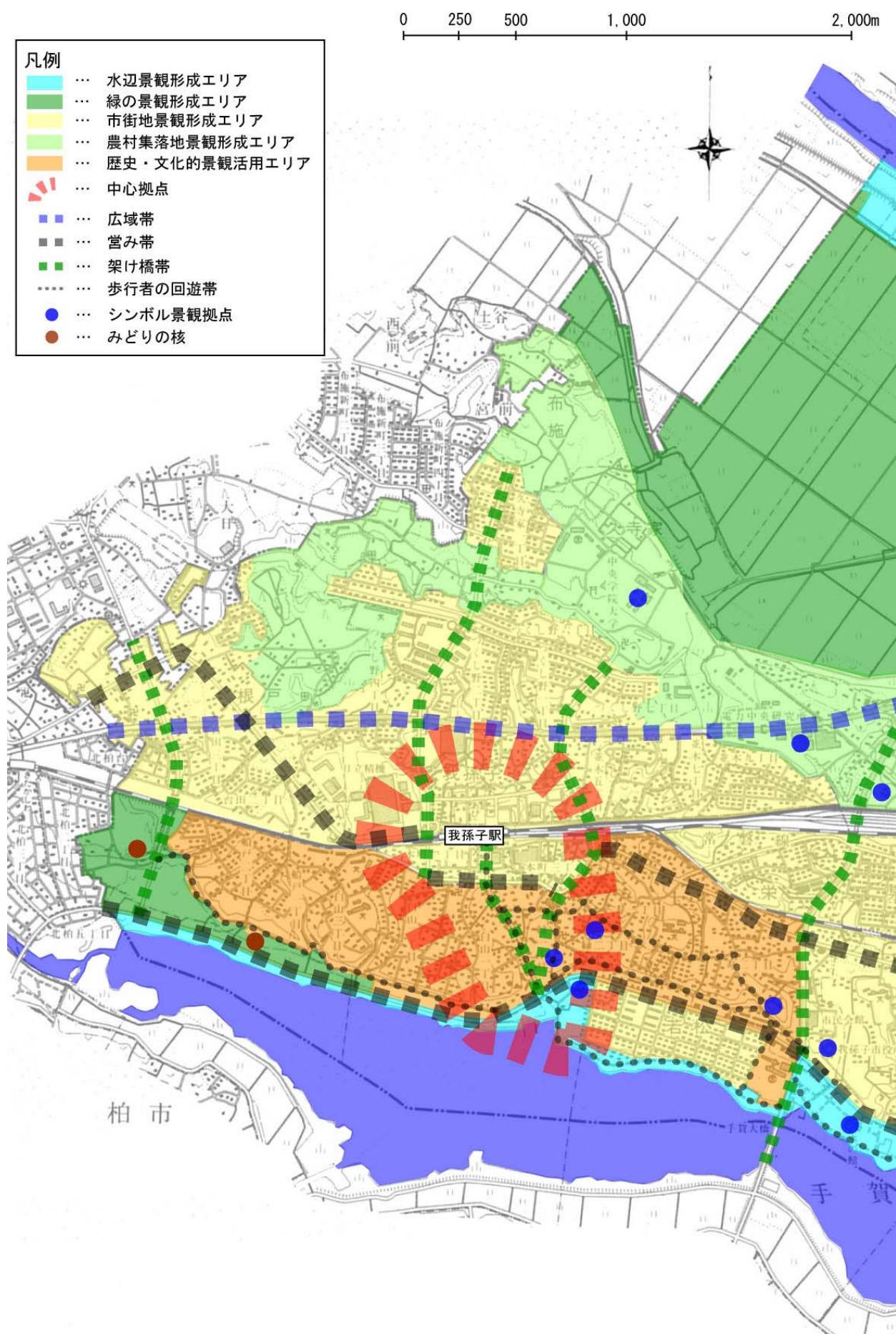
- ・我孫子駅周辺から手賀沼へと導く自動車交通の担う景観の帯として、無電柱化や街路樹の適正な配置などに努めます。

v 中心拠点到ふさわしいにぎわいのある景観づくり

○中心拠点
(我孫子駅周辺から手賀沼まで)

- ・大規模建築物の形態、規模、色彩などの景観誘導を進めるとともに、にぎわいのある中心拠点の景観形成を図ります。

●我孫子地区景観形成方針図



(2) 天王台地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・宅地としての整備が広範囲にわたり行なわれています。
- ・駅の周辺に生産緑地が多いが、営農者の減少に伴い宅地化されつつあります。
- ・旧街道沿いでは、生垣などの続く風情のある家並みが形成されています。
- ・高野山は、都市のオープンスペースとなる農地が残されているものの、道路の幅員は狭く、敷地の小さい家が建て詰まっています。このことから、地区計画による景観に配慮した都市基盤整備事業を進めています。
- ・住宅地と、周辺の農地や集落地などが混在しており特色の見えにくい地区となっています。

ii 商業系土地利用

- ・天王台駅と東我孫子駅の2駅があるものの、その結びつきは弱く、地区の商業地としてのまとまりある景観は形成されていません。

iii 駅前の土地利用

- ・天王台駅は、駅前広場を含めデザインの的にも整えられています。

iv 工業系土地利用

- ・日本電気我孫子事業場が立地し、敷地の緑化や色彩の配慮などにより良好な景観を形成しています。

v その他

- ・市役所や市民会館などの公共施設は、外壁の劣化や退色などにより景観の阻害要因となっています。また、入口の記名サインも時間の経過による退色や損傷により景観の阻害要因となっています。
- ・親水広場や鳥の博物館の建物デザインは、周囲に独特の景観を醸しだしています。
- ・川村学園が周辺の自然と調和した景観を形成しています。
- ・我孫子ゴルフ倶楽部、五本松公園、岡発戸市民の森では、まとまった一団の緑を提供しています。
- ・岡発戸・都部の谷津は、周辺の樹林地とともに豊かな自然景観を形成しています。
- ・手賀大橋付近は、まちの出入り口にあたる重要なポイントであるものの、広告物などが景観的阻害要因となっています。
- ・日立総合経営研修所が、地形を活かすとともに敷地の緑化や配棟の工夫などにより良好な景観を形成しています。

●天王台地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■天王台地区景観形成のテーマ

水と緑と文化が暮らしを育むまち

■天王台地区景観形成の方針

- i 市街地の背景となる水と緑が一体となった景観づくり
- ii 緑豊かで快適な市街地の景観づくり
- iii 新しい文化の創造・発進の拠点づくり
- iv 南北の結びつきを強める都市の骨格づくり

i 市街地の背景となる水と緑が一体となった景観づくり

○水辺景観形成エリア
(手賀沼)

・手賀沼と田園、斜面林の一体的な自然環境の保全、育成に努め、親水空間においては自然的景観と調和した整備を行います。

○緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)

・市街地を縁どる斜面林と田園景観が一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。

○農村集落地景観形成
エリア
(柴崎)

・農地などの保全とともに、都市計画道路沿いの屋外広告物の抑制に努め、良好な農村集落地景観の形成を図ります。

○みどりの核
(我孫子ゴルフ倶楽部、五本松公園、岡発戸市民の森、岡発戸・都部の谷津)

・まとまった一団の緑を核として遠景に配慮した緑の景観づくりを行います。生き物の生息できる緑の環境保全、育成を図ります。

○営み帯^{おび}
(手賀沼ふれあいライン)

・手賀沼への眺めに配慮し、自然と調和した沿道景観の形成を図るため、屋外広告物の適切な誘導を行います。

ii 緑豊かで快適な市街地の景観づくり

- | | |
|--|--|
| ○市街地景観形成エリア
(天王台駅周辺) | ・緑化の推進、オープンスペースの創設などにより、うるおいとゆとりのあるまちなみ景観の形成を図ります。 |
| ○集落地景観を活かした
市街地景観形成エリア
(旧水戸街道沿い、高野山、
下ヶ戸) | ・地域の特色をつくり出している農地や生垣、寺社のある環境の保全及びこれらの集落地景観を活かし、一体となったまちなみ景観の形成を図ります。
・寺社における景観上重要な樹木などの保全、活用を図ります。
・高野山東地区においては、安心とゆとりのある住宅地をの形成と手賀沼沿い斜面林の保全・再生を図ります。
→高野山東地区地区計画 |
| ○地区拠点
(天王台駅周辺) | ・商業、業務機能の充実を図り、個性的な景観形成を図ります。 |

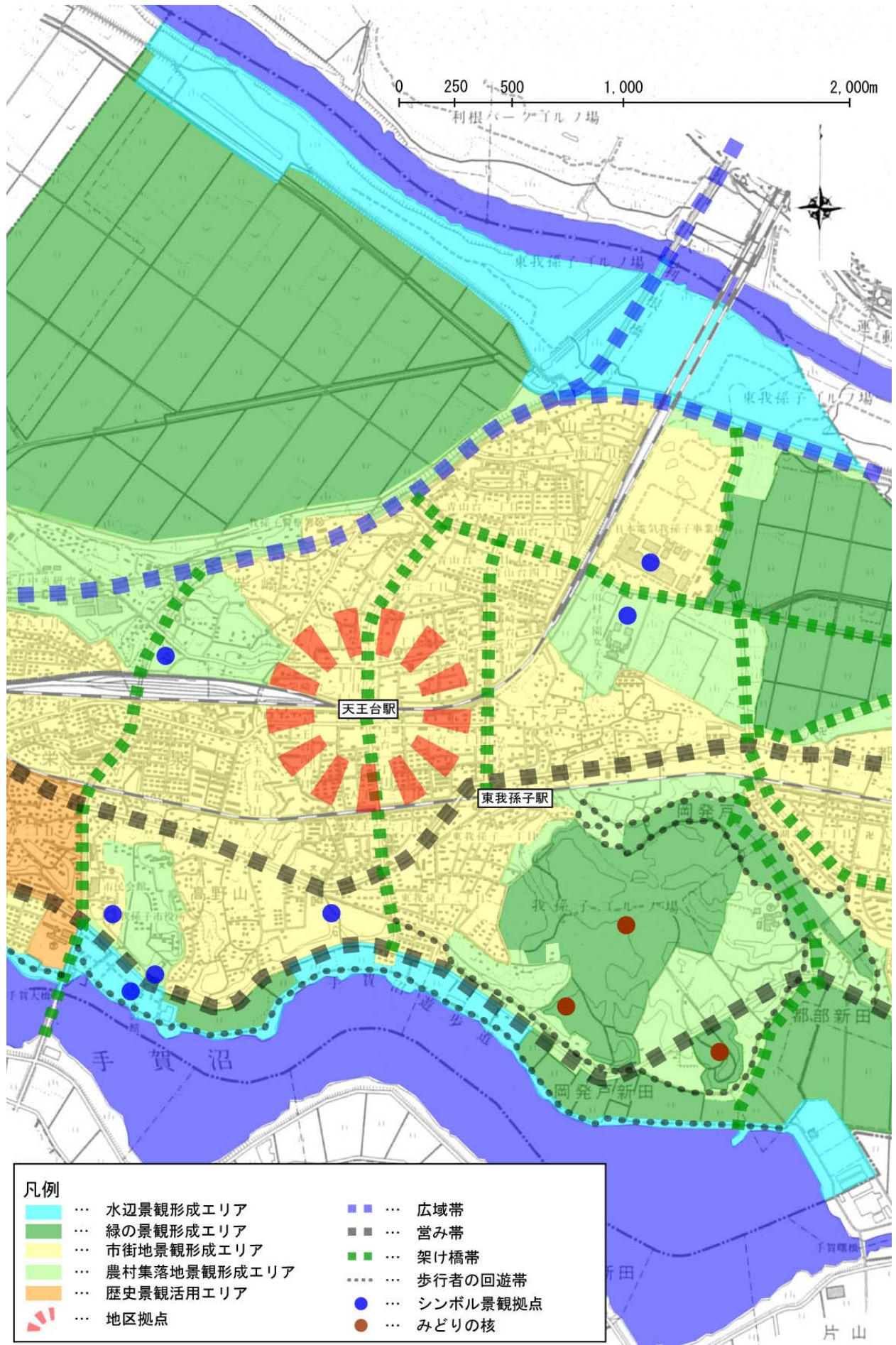
iii 新しい文化の創造・発進の拠点づくり

- | | |
|--|--|
| ○シンボル景観拠点
(公共施設、文化施設など) | ・公共施設などを主体に、地域の先導的な景観形成を図りアピール性の高い文化の拠点づくりを行います。
・人々に開かれた開放的な空間づくりを行います。 |
| ○シンボル景観拠点
(日本電気我孫子事業場、
川村学園周辺、日立総合経営研修所) | ・周辺からの眺めに配慮し、敷地内のオープンスペースの緑化や建築物などの適切な景観誘導を行い、産業、研究教育活動の中心的な拠点として、自然景観と調和した良好な景観形成を図ります。 |

iv 南北の結びつきを強める沿道の景観づくり

- | | |
|----------------------------------|---|
| ○架け橋 ^{おび}
(県道船橋我孫子線) | ・人々の結びつきと市街地から水辺や田園空間へと導くために、連続性のある沿道景観形成を図ります。
・沿道の公共施設、歩道とあわせて一体的な景観形成を進め、主要な交差点においてはスポット的な景観整備を行います。
・市の入口にあたる橋梁、橋詰めなどの魅力的なデザインによるゲートとして景観の演出を図ります。
→公共サインの設置 |
|----------------------------------|---|

●天王台地区景観形成方針図



(3) 湖北地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・駅の北側には古くからの農地や既存の集落地が、また南側には街路樹などの緑が印象的に整えられた住宅地がひろがり、大きく異なった表情を持つ地区に分けられます。
- ・国道 356 号沿いは、古くからの市街地として沿道の生垣、屋敷林などが成田街道の面影を偲ばせています。また、近接して中峠土地区画整理事業で整備された中峠台を中心に新しい住宅が見られます。
- ・湖北台団地は、中高層建築におけるスカイラインの統一などまとまりのある住宅地が形成されています。また、けやき並木がまちなみを緑豊かなものとしています。
- ・湖北台 9 丁目では、歴史を感じさせる正泉寺の山門などが見られ、まちの中に落ちついた空間をつくりだしています。
- ・中里通り沿いは、歴史的景観資源も多く、生垣、屋敷林など为一体となって趣のあるまちなみが形成されています。
- ・中峠や古戸地区では、地形に沿って道路が形成されており、古くからの集落地が見られます。

ii 商業系土地利用

- ・湖北駅の北側には古くからの商店街は、にぎわいの向上が望めます。
- ・国道 356 号に沿って、大型店舗が増えつつあるが、無秩序な看板、広告物がまちなみを雑然としたものとしています。
- ・湖北台団地内の四季の道沿いの商店街があるが、まちなみの魅力の向上が望めます。

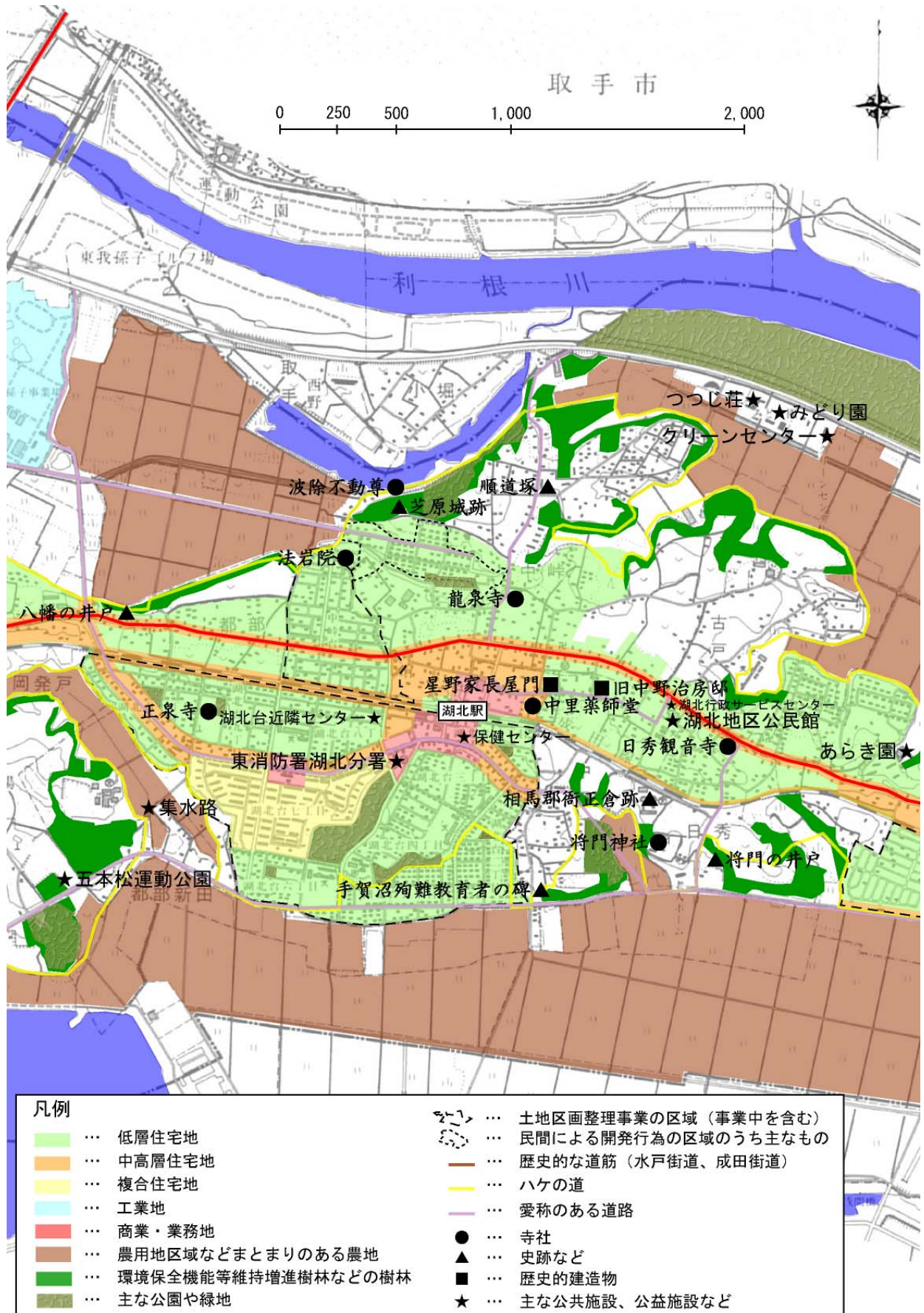
iii 駅前の土地利用

- ・湖北駅南口は、駅前広場を含めデザイン的にも整えられています。
- ・北口駅前広場及び都市計画道路湖北駅・北口線では、無電柱化、歩行者に安全な歩道などの景観に配慮した整備が進められています。

iv その他

- ・古利根沼は、旧利根川の河道の跡として、豊かな水辺景観を形成しており芝原城跡とあわせてその保全と活用が求められています。
- ・湖北台中央公園は、地形の起伏を活かし、のびのびと遊べる緑のオープンスペースとなっています。
- ・利根川の河川敷をオープンスペースとして活用した利根川ゆうゆう公園があるが、市街地からの交通のアクセスが悪く、古利根沼や斜面林などの周辺景観に調和した道路整備が望めます。

●湖北地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■湖北地区景観形成のテーマ

古利根沼がうるおい、都市と農の緑が調和するまち

■湖北地区景観形成の方針

- i 古利根沼を核としたうるおいのある水辺景観づくり
- ii 特徴のある地形と緑を保全し、活用した景観づくり
- iii 新しい都市の緑と農の緑が調和した景観づくり
- iv 水と緑への架け橋づくり

i 古利根沼を核としたうるおいのある水辺景観づくり

○水辺景観形成エリア
(利根川)

・利根川の水辺の保全に努め、うるおいのある水辺景観の形成を図ります。

○水辺景観形成エリア
(古利根沼)

・水辺や周辺の緑の保全を基本として、小動物などの生息環境に配慮し、水と緑に親しめる水辺空間づくりを進めます。

→市民の景観意識の高揚や啓発活動の拠点として活用します。(市民参加方式)
・利根川と関わりの深い歴史性を創出します。

ii 特徴のある地形と緑を保全し、活用した景観づくり

○緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)

・谷津田などの特徴ある地形と緑とが一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。

・田園地帯や斜面林沿いの水路などの活用を図り、周囲の自然環境と調和した景観形成を進めます。

→谷津ミュージアムづくり

○農村集落地景観形成エリア
(中峠、日秀)

・農地や斜面緑地などの環境の保全を図るとともにこれらと調和した景観整備を進めます。

○営み帯^{おび}
(手賀沼ふれあいライン)

・田園景観を阻害しない沿道景観づくりを行います。
(手賀沼ふれあいライン)

iii 新しい都市の緑と集落の緑が調和した景観づくり

○市街地景観形成エリア
(湖北台)

- ・緑化の推進、オープンスペースの創出などにより、うるおいとゆとりのあるまちなみ景観の形成を図ります。
- ・商業地においては商店の魅力化、個性化を図ります。
- ・中高層の建物についてはその形態、色彩など遠景に配慮し、緑と調和したまちなみ景観の形成を図ります。

○集落地景観を活かした
市街地景観形成エリア
(都部、中里)

- ・地域の特色をつくり出している屋敷林や生垣、歴史的資源などを保全、活用し、身近な緑に伝統性を感じるまちなみ景観の形成を図ります。

○地区拠点
(湖北駅周辺)

- ・北口駅前広場と都市計画道路湖北駅・北口線の拡幅や無電柱化などの整備により、にぎわいのある魅力的な商業地景観の形成を図ります。

○みどりの核
(中里市民の森)

- ・史跡と一体的な散策ルートとしてのみどりの核づくりを行います。

○みどりの核
(湖北台中央公園)

- ・周辺の緑と一体的に都市空間にうるおいをあたえ、地区の中心的な公園となるみどりの核づくりを行います。

○^{おび}営み帯
(国道 356 号)

- ・沿道の歴史的資源を保全し、これを活かしたまとまりある沿道景観の形成を図ります。

iv 水と緑への架け橋づくり

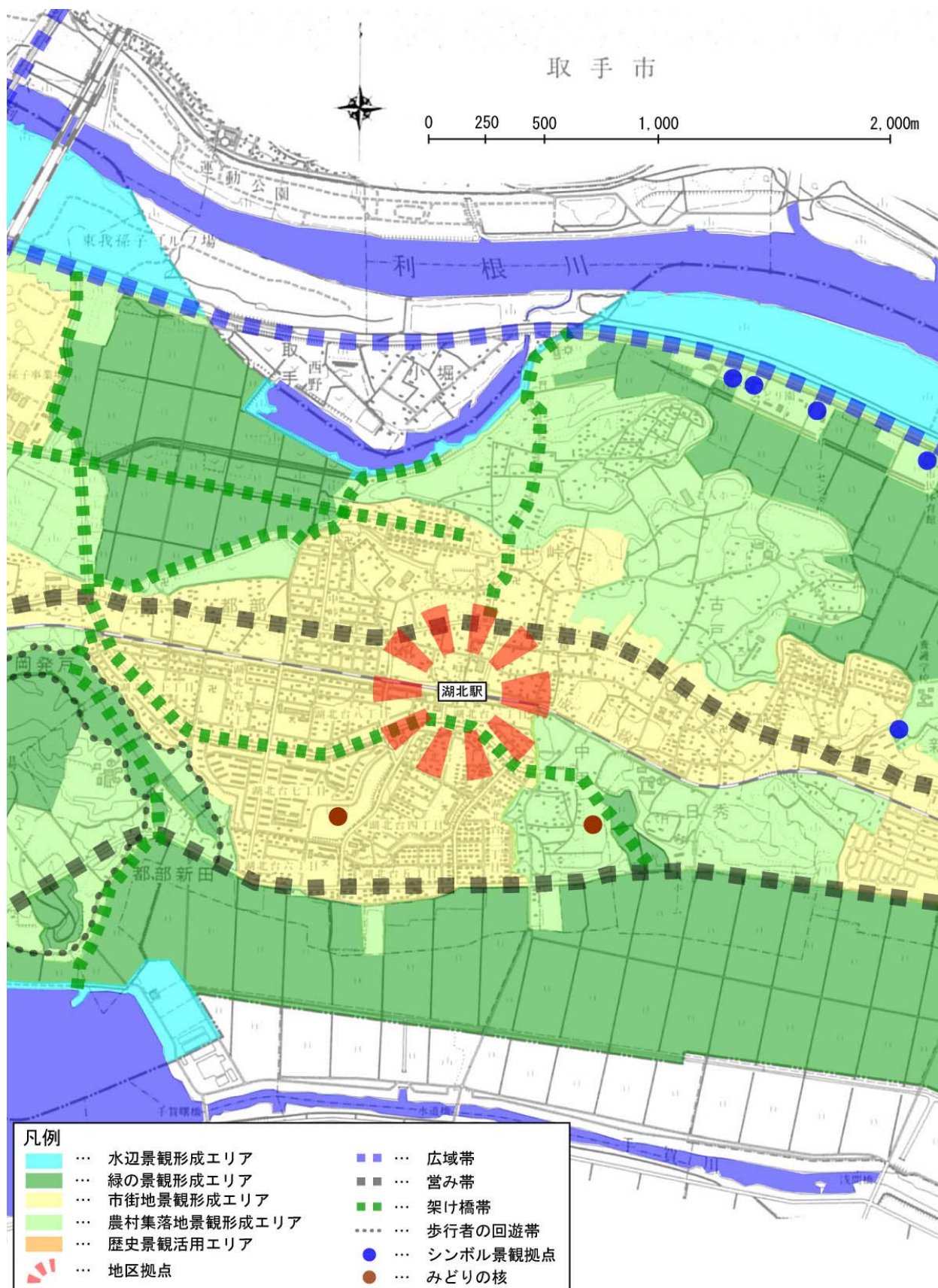
○^{おび}架け橋帯
(市街地から古利根沼、利根川への街路、市街地から手賀沼への街路)

- ・市街地から「水・緑」空間へと導くために、水辺を意識した連続性のある沿道景観形成を図ります。
- 道路、遊歩道沿いに連続した緑化や歩道などに設置されるベンチ、案内板、街路灯などの都市空間を演出するための設備などの整備に努めます。

○^{おび}架け橋帯
(集水路)

- ・周辺の自然環境、生態系に配慮し、水と緑の回遊性をもたせた親水性の高い景観の帯を形成します。

●湖北地区景観形成方針図



(4) 新木地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・南北に大きく田園がひろがり、市街地を取り囲んでいます。
 - ・国道356号に沿って屋敷林や古木などの家並みが、かつての成田街道の歴史を偲ばせています。
 - ・土地区画整理事業の行われている駅の南側では、地区計画により良好な住環境の維持、保全及び緑豊かなうるおいのある景観形成が進められています。
 - ・新木野地区では、緑とオープンスペースが乏しいために密集して見えるなど田園との調和に欠けています。
 - ・市営住宅北原団地が、気象台記念公園に隣接して景観に配慮するとともに鳥をモチーフとした個性的なデザインで立地しています。

ii 商業系土地利用

- ・駅の南側に商業施設が立地し、今後の展開が期待されます。

iii 駅前の土地利用

- ・新木駅南口は、駅前広場を含めデザインの的にも整えられています。

iv その他

- ・利根川ゆうゆう公園は、利根川の河川敷をオープンスペースとして活用しており、市民体育館と一体的に利用されています。
- ・利根川沿いの田園地帯に福祉施設などの公共施設が多く立地し、景観的な配慮が求められます。

●新木地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■新木地区景観形成のテーマ

田園と緑が豊かさゆとりを生むまち

■新木地区景観形成の方針

- i 利根川と田園景観を活かした親しみある景観づくり
- ii 成田街道のまちなみの形成と緑豊かな市街地の景観づくり
- iii 快適なまちなみの形成と緑豊かな市街地の景観づくり

i 利根川と田園景観を活かした親しみある景観づくり

○水辺景観形成エリア
(利根川)

・利根川の雄大な自然景観を活かした水辺の景観形成を図ります。

→利根川ゆうゆう公園整備計画

・利根川に沿って、自転車あるいは歩いて楽しめる回遊軸をつくり、周辺施設との有機的な連携を図ります。

○緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)

・市街地を縁どる斜面林と田園景観が一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。緑の連続性がとぎれたところなどは緑の創出に努めます。

○農村集落地景観形成エリア
(新木北)

・農地などの環境の保全と学校教育施設の緑化を促進し、良好な集落地景観づくりを図ります。

○シンボル景観拠点
(市民体育館などの施設)

・周辺の水辺景観や田園景観に配慮し、環境になじみやすく人々が親しみやすいデザイン、建物外周部の緑化、開かれた空間づくりを図ります。

○^{おび}営み帯
(手賀沼ふれあいライン)

・田園景観を阻害せず、沿道の建物へのアプローチのしやすい景観形成を図ります。

ii 成田街道のまちなみを活かした景観づくり

○集落地景観を活かした
市街地景観形成エリア
(成田街道沿い)

・地域の特色をつくり出している屋敷林や歴史的資源などを保全、活用し、周辺環境の整備とあわせて、既存の集落と一体となったまちなみ景観の形成を図ります。

○営み^{おび}帯
(国道 356 号)

・沿道の屋敷林や歴史的なまちなみを保全し、周辺の環境整備とあわせて歴史を感じさせる景観の帯の形成を図ります。

iii 快適なまちなみの形成と緑豊かな市街地の景観づくり

○市街地景観形成エリア
(新木南)

・ゆとりとうるおいのある生活空間の創出と周辺の自然環境と調和した秩序あるまちなみ景観の形成を図ります。

○市街地景観形成エリア
(新木野、古戸)

・周辺の自然環境に配慮し、緑豊かなうるおいのある生活空間の創出を図ります。

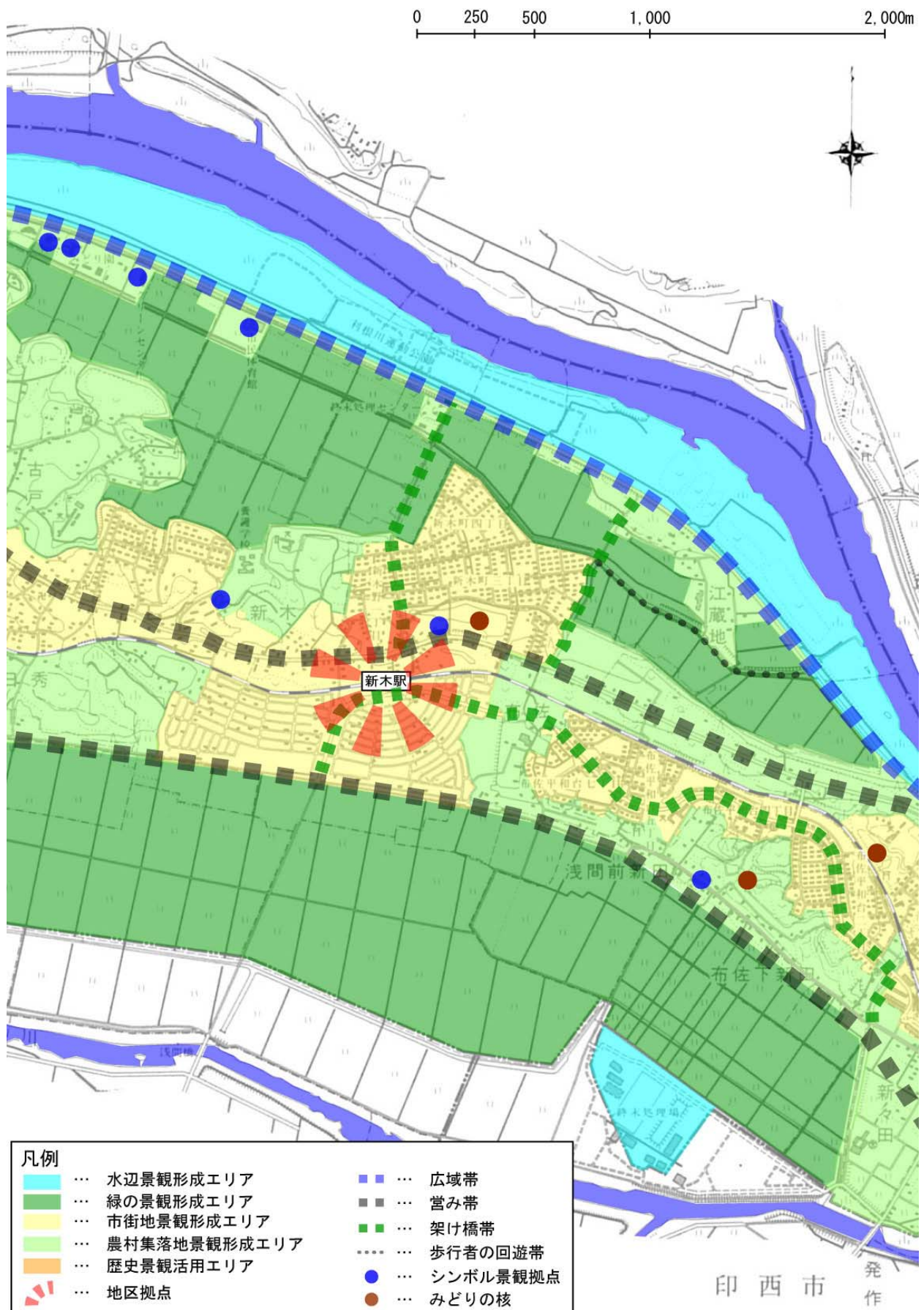
○地区拠点
(新木駅周辺)

・地域の個性を活かした駅舎、駅前広場の整備を進め、まとまりのある拠点づくりを行います。

○架け橋^{おび}帯
(〔仮称〕利根川・大作新田線)

・特徴ある地形を活かし、田園景観の眺望の確保と連続した景観の帯の形成を図ります。

●新木地区景観形成方針図



(5) 布佐地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・大規模な住宅地である布佐平和台では、緑地協定・建築協定を結び、生垣、街路樹などの緑豊かな景観に配慮したまちなみが見られます。
- ・駅の北側には低層な住宅地がありますが、緑が少なく道路も狭いところが見られます。
- ・沿道の生け垣、屋敷林などが成田街道の面影を偲ばせています。
- ・布佐下地区は、昔ながらの面影を残す家並みにより、集落地の風景を醸し出しています。

ii 商業系土地利用

- ・駅前から国道356号の交差点を中心として商店街が形成されていますが、歩行者空間や店舗前のゆとりもないことから、都市基盤整備を行いまちなみの魅力の向上が望まれます。

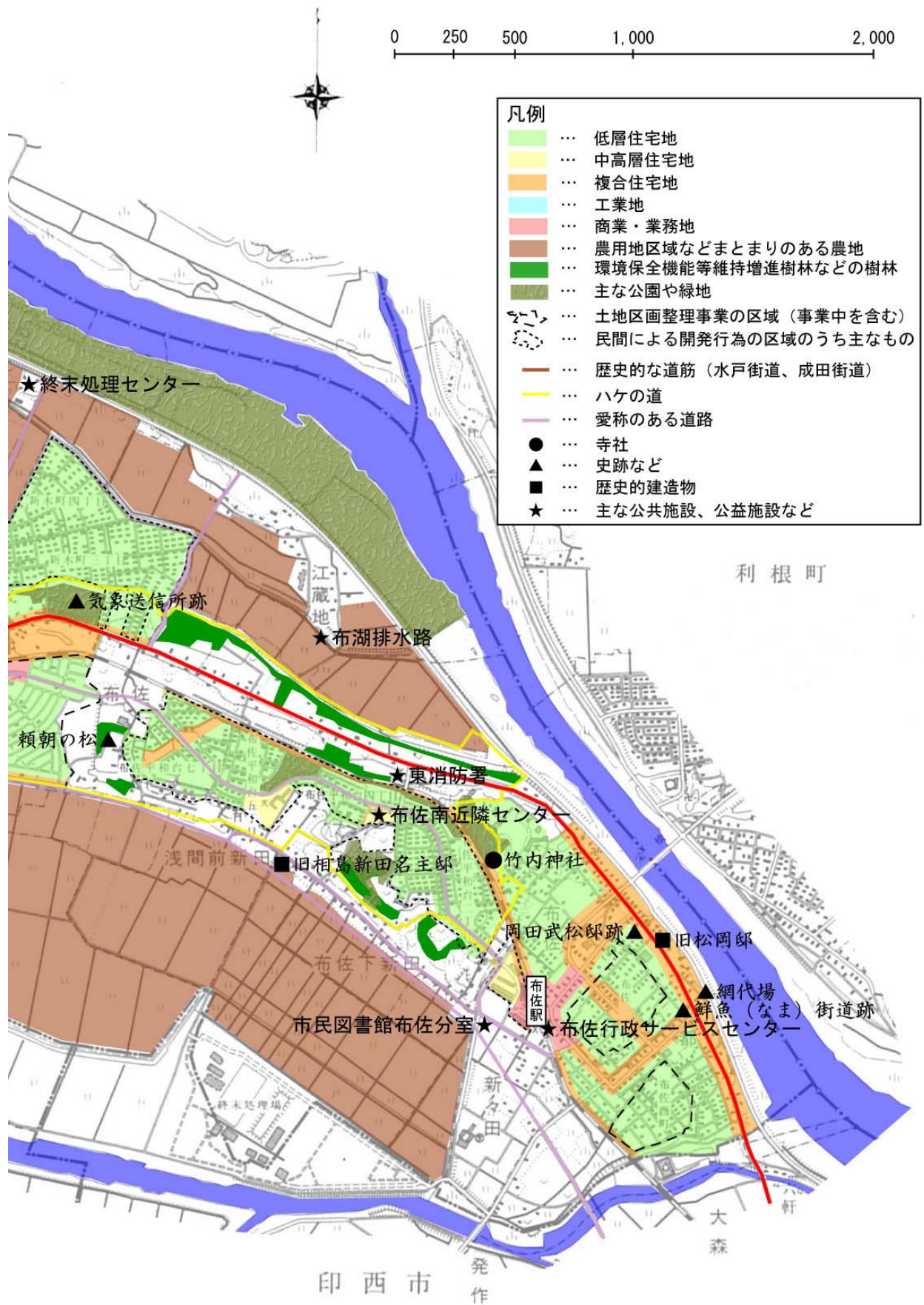
iii 駅前の土地利用

- ・布佐駅南口は、駅前広場を含めデザイン的にも整えられています。

iv その他

- ・利根川の水運で栄えた歴史性を背景にもつ地区です。しかし、今ではその面影もほとんどみられず、こうした地域の歴史的資源を地区の特色として再認識し、利根川との結びつきを取り戻したいものです。
- ・布佐南地区において、市民と市の協働によるまちづくりを進めています。
- ・宮ノ森公園、竹内神社、小学校、中学校が集まっており、お互いに行き来できるよう配慮されています。
- ・竹内神社の参道空間の松並木がアプローチを彩っています。
- ・浅間神社は、自然性の高い鎮守の森を形成しています。
- ・布湖排水路は、我孫子ではめずらしくなった自然護岸の水路で、野鳥や水生生物が生息するのどかな景観を醸し出しています。

●布佐●我孫子地区景観特性図地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■布佐地区景観形成のテーマ

利根川の水辺の記憶が息づき、田園の趣が感じられるまち

■布佐地区景観形成の方針

- i 利根川の空間を活かした景観づくり
- ii 豊かな田園景観を活かした景観づくり
- iii うるおいと落ち着きのあるまちなみ景観づくり
- iv 水との関わりの深い歴史性を意識した景観づくり

i 利根川の空間を活かした景観づくり

○水辺景観形成エリア
(利根川)

- ・利根川の水辺の保全を図り、うるおいのある水辺景観の形成を図ります。
- ・橋梁の橋詰などのスポット的景観整備、橋のデザインなど魅力ある景観形成を進めます。
- ・利根川に沿って、自転車あるいは歩いて楽しめる回遊帯^{おび}の形成を図ります。

ii 豊かな田園景観を活かした景観づくり

○緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)

- ・市街地を縁どる斜面林と田園景観や、既存の集落地と一体となった景観の保全、育成に努めます。

○農村集落地景観形成エリア
(成田街道沿い・布佐下)

- ・地域の特色をつくり出している屋敷林などを保全、活用し、農地や既存の集落と一体となったまちなみ景観の形成を図ります。

○歩行者の回遊帯^{おび}
(布湖排水路)

- ・周辺の自然環境、生態系に配慮し、水と緑の回遊性をもたせた親水性の高い景観の帯を形成します。

iii うるおいと落ち着きのあるまちなみ景観づくり

- 市街地景観形成エリア
(布佐平和台)
 - ・生垣など周辺の家並みとの連続性をもたせ緑豊かな秩序あるまちなみを保全し、良好な景観の形成を図ります。
- 市街地景観形成エリア
(布佐駅南側)
 - ・布佐駅南側の市街化調整区域において地域住民と市が協働により進められているまちづくり事業では、良好な市街地景観の形成を図ります。
 - 布佐駅南側のまちづくり
- 営み帯^{おび}
(国道 356 号)
 - ・沿道の屋敷林や歴史的な建築物を保全、活用し、周辺的环境整備とあわせてまとまりのある沿道景観の形成を図ります。
- みどりの核
(布佐市民の森周辺)
 - ・自然環境の保全、育成を基本として、生き物とのふれあいや四季の移り変りなど自然を体感できるようなみどりの核づくりを行います。

iv 水との関わりの深い歴史性を意識した景観づくり

- 歴史・文化的景観形成エリア
(布佐駅東側)
 - ・住宅地内のオープンスペース、主要な交差点、水辺の整備などに際しては、かつての水辺の記憶(利根川水運の歴史)を呼び起こし、イメージさせるような整備を行い、個性あるまちなみ景観の形成を図ります。
- 地区拠点
(布佐駅周辺)
 - ・駅前広場の整備とあわせて個性的な駅のイメージづくりを行うとともに、歴史性が感じられるような表情づくりに努めます。
- みどりの核
(宮ノ森公園周辺)
 - ・周辺の小・中学校、竹内神社と一体となって都市空間に緑とうるおいを与えるオープンスペースとして親しみやすいみどりの核づくりを行います。
- 架け橋帯^{おび}
(市街地から利根川への街路)
 - ・利根川を意識させる連続性のある景観の帯の形成を図ります。

